

## 補助金等成果報告書

補助金等名	全日本同和会県連合会別府支部補助金		
団体等名	全日本同和会大分県連合会別府支部		
事業費	2, 2 2 1, 4 1 0 円	補助金額	2, 1 0 1, 4 0 1 円

事業の内容	(実施した事業内容を記入してください。)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本同和会主催の全国大会、研修大会への参加（東京・大阪外、計 6 名）</li> <li>・全日本同和会九州連合会主催の九州大会、研修大会への参加（鹿児島、計 1 名）</li> <li>・人権相談会 懇談会（朝日大平山公民館 年 3 回）</li> <li>・身近な人権講座（市主催地区公民館 年 4 回）</li> <li>・県連各支部意見交換会及び、役員会（年 1 0 回）</li> </ul>

成果目標	(「成果目標設定書」の内容を記入してください。)
	同和問題をはじめ、あらゆる人権問題を解消していくため、行政と運動団体が連携して、人権尊重のまちづくりを目指し、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題解消の展望を開いていく。

事業効果	(事業実施の結果、どのような成果や効果があったかを記入してください。)
	<p>会員が県内外で開催される研修会等に参加することにより、同和問題についての見識を深め、行政と連携し同和問題解消に向けた活動に取り組み、地域住民一人ひとりの心の中に差別を許さない心をしっかりと育み、人権感覚豊かなまちづくりに資している。(コロナ禍の中、参加者の人数制限・開催時間の縮小などを行い各大会を開催し参加することで部落差別問題や各種人権問題に取り組めた。)</p>

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた 3 あまりできなかった	② 概ねできた 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた 3 あまりできなかった	② 概ねできた 4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	「部落差別の解消の推進に関する法律」の成立により、部落差別解消は自治体の債務として取り組んでいただきたい。	

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

## 補助金等成果報告書

補助金等名	部落解放同盟大分県連合会別府支部補助金		
団体等名	部落解放同盟大分県連合会別府支部		
事業費	2, 3 1 0, 6 0 0 円	補助金額	2, 4 0 1, 0 0 0 円 (次年度精算予定)

事業の内容	<p>(実施した事業内容を記入してください。)</p> <p>部落解放同盟大分県連合会関係 (定期大会、高校生・中学生友の会、青年部、委員会、集会・会議、学習会等 20回)</p> <p>部落解放同盟中央本部関係等 (大会、集会、学習会、会議等 22回)</p> <p>別府市主催会議等 (人権問題啓発推進協議会、研修会、人権を擁護する審議会、7回)</p> <p>部落解放共闘大分県民会議・地区会議関係 (総会、学習会、会議等 9回)</p> <p>部落解放・人権研究所主催事業等 (講座、学習会、夏期講座、集会、研究会 12回)</p> <p>大分県関係 (5回)、別府支部関係 (7回)、その他会議・研修会・大会 (5回)</p>
-------	--

成果目標	<p>(「成果目標設定書」の内容を記入してください。)</p> <p>行政と連携して、研修と啓発活動により支部同盟員の健全育成に努め、今も根強く残る被差別部落出身者への結婚差別や就職差別、また SNS やインターネット等を利用した悪質な書き込みや動画配信などの部落差別を中心としたあらゆる人権問題の解消に寄与する。</p>
------	---

事業効果	<p>(事業実施の結果、どのような成果や効果があったかを記入してください。)</p> <p>3年ぶりに対面での開催となった全国規模の大会や研修会に、またオンライン開催の学習会等に多くの支部同盟員が参加し、部落差別を中心としたあらゆる人権問題解決への見識を深めることができた。また、行政と連携して研修や啓発活動をすることで差別のない明るい社会の形成に資している。</p>
------	--

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	① できた	2 概ねできた	3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	① できた	2 概ねできた	3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	<p>「部落差別の解消の推進に関する法律」の施行により、部落差別解消のための施策実施が国及び地方公共団体の責務となったことにより、これまで以上に人権教育の推進と部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けた啓発に努めて頂きたい。</p>			

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

## 補助金等成果報告書

補助金等名	別府市人権問題啓発推進協議会補助金		
団体等名	別府市人権問題啓発推進協議会		
事業費	3,664,376円	補助金額	3,650,000円
事業の内容	(実施した事業内容を記入してください。)		
	<p>1 「差別をなくす運動月間」の啓発活動</p> <p>(1) 講演会の開催（令和4年8月25日、別府市公会堂 大ホール、241名） 新型コロナウイルス感染症予防対策のため、全体の参加者を250名以内とし、一般の参加人数は市民50名に限定、公募による抽選を行った。</p> <p>(2) 横断幕等の設置 ・差別をなくす運動月間（8月、市役所本庁・人権啓発センター・的ヶ浜公園（国道10号線沿い）） ・人権標語（市庁舎北側） 「ほっとした 君がとなりに いてくれて」 山の手小学校 5年 村上 ゆうな さん （令和3年度別府市小・中学生「人権標語」別府市人権問題啓発推進協議会長賞） ・ヘイトスピーチ横断幕（市庁舎北側） 「ヘイトスピーチ、許さない。」</p> <p>(3) 広報誌「差別をなくす運動月間」特集号発行 「差別をなくす運動月間」関係行事や身近な人権課題、本人通知制度の紹介、人権擁護委員制度等について掲載し、市内の全世帯に配布</p> <p>(4) じんけんフィルムフェスタの開催 新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、4会場等で実施（計243名参加） 7月4日 東山幼小中学校、8月2日 南部児童館、8月3日 西部児童館、 8月5日 北部児童館、8月16～24日 南子育て仲よしクラブ（DVDを貸出し上映）</p> <p>2 「人権週間」の啓発活動</p> <p>(1) 人権啓発パネル・ポスター展 ・人権作品展示・人権ポスター展 11月2日～4日 トキハ別府店にて、市内小・中学生による人権作品の展示 ・人権パネル・人権作品展示 12月2日～9日 市庁舎1階受付前ロビーにて、市内小・中学生人権作品（ポスター、作文、標語）等の展示、啓発DVDの上映、啓発冊子及びチラシ、啓発ポケットティッシュの配布</p> <p>3 人権七夕展 7月1日～7日 市庁舎1階受付前ロビーにて 人権問題啓発推進協議会会員による人権に関する短冊と、市民の自由記載による短冊を飾った笹を展示</p> <p>4 特設人権相談所（人権・行政困りごと相談所）の開設 6月1日、8月17日、12月21日 市庁舎会議室等にて、大分人権擁護委員協議会別府地区会による人権相談所を開設した。相談件数は、合計2件</p> <p>5 無料人権相談所の開設 毎月第2水曜日に市庁舎会議室にて、大分人権擁護委員協議会別府地区会による人権相談所を開設した。相談件数は、合計2件</p> <p>6 啓発資料及び啓発物品の配布 小・中学生の人権ポスター及び標語の優秀作品を掲載した「じんけんカレンダー」を1,100部作成し、幼、小、中学校の各教室、公共施設、自治会、放課後児童クラブ等へ配付した。また、「家庭や地域で人権を考える」ことを目的として作成した「ヒューマンライツ」を、市内小・中学校児童生徒の保護者及び教職員、放課後児童クラブ指導員、自治委員、民生委員児童委員へ配付するため10,000部作成した。また、「新1年生用」1,000部を協議会で作成し、配付した。さらに、部落差別解消推進法と部落差別問題に関する相談先等を印刷した除菌ウェットティッシュとライトペンを購入し、8月の差別をなくす運動月間等に配布した。</p> <p>7 教育・啓発活動 市内外の企業・団体からの要請を受け、人権に関する研修会等に講師を派遣した。 （15団体、受講者701名）</p> <p>8 別府市人権啓発センター事業</p> <p>(1) じんけんふれあい教室（計8回開催、参加者計132名） (2) じんけんふれあいワークショップ（1回開催、参加者56名） (3) 人権ミニ講座（計4回開催、参加者計57名）</p>		

	<p>(4) 市民人権講座（計7回開催、参加者計150名）</p> <p>(5) 「センターだより」や壁新聞による情報発信（2ヵ月に1回） 事業の告知及び人権課題の情報発信を行った。センターのある春木川校区の自治会の協力により、地域住民への回覧も実施。壁新聞（カラー版）を作成し、春木川校区自治会、中部地区公民館、春木川小学校、老人クラブ連合会等に配付した。</p> <p>(6) 人権ミニライブラリー 人権に関する学習・啓発教材等を、広く市民、企業（団体）、学校等へ閲覧、視聴、貸出することによって、人権意識・感覚の高揚を図った。DVD7本購入 貸出件数 108件 ※複数貸出あり（DVD60本、ビデオ3本、図書45冊）</p> <p>(7) 人権花壇の整備 人権啓発センターの花壇を整備し、利用者の心が和む環境づくりを行った。</p> <p>(8) 人権相談 部落差別問題をはじめとした人権問題に関する各種相談を電話や面接で受け付けた。 相談件数は合計6件</p> <p>(9) 本人通知制度 各講座の始めに制度の説明を行い周知を図った。センターでの登録受付は3件</p> <p>9 別府市人権教育・啓発実施計画の推進 令和2年度に実施した市民意識調査結果を基に、令和4年度において全庁体制で実施計画を見直し「第4次別府市人権教育・啓発実施計画」（令和3年度～令和7年度の5ヵ年）を策定、275項目について取り組んだ。</p> <p>10 部落差別解消の推進に関する基本方針・実施計画の推進 平成28年12月16日に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されたことに伴い、本市で平成30年度に策定された「部落差別解消の推進に関する基本方針・実施計画」を推進するための事業を実施。</p> <p>(1) モニタリングの実施 差別書込みのモニタリング（監視）を定期的実施し、発見した場合は削除要請を行う。 削除要請回数 15回</p> <p>(2) 街頭啓発 部落差別解消推進法施行日に、別府駅東口及び西口にて街頭啓発を行った（啓発グッズの配布）。</p> <p>11 部落差別解消のための学校教育推進基本方針・基本計画の推進 平成30年より5ヵ年計画の「部落差別解消のための学校教育推進基本方針・基本計画」に基づいた取組を実施した。まず、教育課程上の法的な位置づけ及び子どもの発達段階に応じた部落問題学習の位置づけは、全学校で実施できた。さらに各学校で、ヒューマンライツやじんけんカレンダーを活用した人権参観日等を12月に実施し、保護者・地域住民への啓発を行うよう促した。</p>
--	---

成果目標	<p>（「成果目標設定書」の内容を記入してください。）</p> <p>本協議会の構成員である別府市・別府市教育委員会及び関係団体と連携し、人権に関する講演会や教育・啓発活動を実施することにより、全ての市民の基本的な人権が等しく尊重される社会を希求し、部落差別問題の解決をはじめ、あらゆる差別の解消を図る。</p>
------	--

事業効果	<p>（事業実施の結果、どのような成果や効果があったかを記入してください。）</p> <p>年間を通じて、人権に関する講演会や研修会、人権作品・パネル展示など、部落差別問題をはじめとしたさまざまな人権課題に対する教育・啓発活動を実施することにより、市民の人権意識の向上、問題意識の共有を図ることに寄与した。</p>
------	---

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた                      ② 概ねできた 3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた                      ② 概ねできた 3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	別府市、別府市教育委員会及び関係団体と連携しながら人権教育・啓発活動を引続き実施していきたい。

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。

補助金等成果報告書

補助金等名	令和4年度大分人権擁護委員協議会補助金		
団体等名	大分人権擁護委員協議会		
事業費	1,081,894円	補助金額	260,000円

事業の内容	(実施した事業内容を記入してください。)		
	別紙添付書類の通り		

成果目標	〔「成果目標設定書」の内容を記入してください。〕		
	別紙添付書類の通り		

事業効果	(事業実施の結果、どのような成果や効果があったかを記入してください。)		
	別紙添付書類の通り		

自己評価等	事業は計画どおりできましたか	1 できた	② 概ねできた
		3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって期待した効果をあげることができましたか	1 できた	② 概ねできた
		3 あまりできなかった	4 ほとんどできなかった
	その他評価する点、改善点、市に対する提案・要望等	特になし	

※補助金等制度の運営の適正化や透明化の向上のため、この書類の内容は、市のホームページに公開します。



# 令和4年度会務報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## (1) 総会・常務委員会・委員研修会・ネットワーク協議会

項目	開催年月日	場所	出席委員	内容(実施予定)
第1回 常務委員会	令和4年 4月14日	J:com ホル トホール大 分201会議 室	20名	① 総会議事について ② 会務報告の内容について ③ 総会開催の判断について ほか
総会	令和3年 5月12日	ソレイユ	コロナ禍 により中 止(書面審 議)	① 令和3年度会務報告・収支決算報 告・監査報告 ② 令和4年度事業計画案・予算案 審議 ③ 役員改選 ほか
第1回 委員研修会	5月12日	ソレイユ	42名	部会研修 協議: ①部会役員選出 ②県連委員選出 ④ 活動計画 ほか
第2回 常務委員会	8月23日	大分法務総 合庁舎 4階会議室	12名	① 専門部会年間活動計画 ② 人権サッカー教室について ③ 全国一斉法務局休日相談所 ④ 九連理事会・総会報告 ⑤ 「人権擁護委員の日」特設相談所結 果報告 ほか
第3回 常務委員会	12月8日	大分法務総 合庁舎 4階会議室	18名	① 専門部会活動状況について ② 第2回委員研修会について ③ 人権啓発フェスティバルについて ④ 九連理事会・全連総会報告 ほか
第2回 委員研修会	令和4年 1月27日	J:com ホル トホール大 分	37名	○ アンケートによる4つグループで の討議で、困りや問題を出し合い、 意見交換をする。 ○ コロナ禍における研修会を模索し グループ活動のみと考えた。
県及び大 分・竹田地 域人権啓発 活動ネット ワーク協議 会	6月7日	資料送付	1名	① 令和3年度人権啓発活動における 効果検証結果について ② 令和4年度人権啓発活動進捗状況
県及び大 分・竹田地 域人権啓発 活動ネット ワーク協議 会	10月18日	法務局 4階会議室	1名	① 「第74回人権週間」における啓発 事業について ② 「人権の花」運動の進捗状況 ③ 令和5年度啓発事業について ほか

## (2) 啓発活動

項目	開催年月日	場所・対象者	出席委員	内容
人権啓発 フェスティバル	11月26日	ギャラリー竹町 広場	13名	・チラシや啓発物品配布 ・人権作文コンテスト表彰式 ・ウォークバルーン ・まもる&あゆみ重押しスタンプ
人権週間 街頭啓発	11月30日	トキハ前	13名	・チラシや啓発物品配布 ・ウォークバルーン ・報道関係者への対応 ほか
人権サッ カー教室	9月27日	大分市立金池 小5年生127 人	1名	・大分トリニータとの交流 数グループに分かれてサッカ ーゲームを実施。 ・人権擁護委員から「SOSミニ レター」「人権擁護委員」につ いての話をポスターを提示し ながら話。
	11月15日	大分市立戸次 小4年生98人	1名	
	11月22日	大分市立賀来 小4年生92 人	1名	
	12月9日	大分市立戸次 小4年生92人	1名	
	12月13日	大分市立大在 小2年生82人	1名	
	12月14日	大分市立大在 小2年生83人	1名	
	12月21日	大分市立明野 東小6年生47 人	1名	
	R5 1月13日	大分市立戸次 小6年生66人	1名	
法務庁舎 での啓発	人権週間 12月4日～ 12月10日	法務総合 庁舎1階 エントランス		・ポスター, 旗 ・啓発物品展示, 配布 ・チラシ 他

**【成果】**

- 総会は書面決議になったが、部会研修だけは総会会場で時間帯を別にして実施し、専門部会の活動がスムーズにスタートできた。
- 常務委員会も対面形式で開催できたし、1月の委員研修会も40名弱の委員が参加して実施できた。改めて委員同士の交流の重要性を感じるという感想が多く聞かれた。

**【課題】**

- 委員の研修の機会が少ないという意見が多く、次年度はこれまでの研修体制を見直す必要がある。



### (3) 事務局

『構成』 会長、事務局長、事務局員（7人）、事務補助員 計10名

『開局日』 原則毎週水曜日

『活動内容』

#### (1) 総会、常務委員会、委員研修会について

- ①日時、会場の設定、内容の検討   ②案内状の作成、発送   ③資料作成・印刷
- ④内容次第の確認   ⑤開催準備   ⑥開催後の報告、総括

#### (2) 一部会、二部会、三部会について

- ①部会長との連絡調整（日程、会場、内容等）   ②啓発物品の購入計画、選定
- ③資料作成   ④2年ごとの編成替え…希望調査、決定（常務委員会で）

#### (3) 会計運営について

- ①日々の会計処理（帳簿整理、出金入金処理）   ②啓発物品の購入計画、選定
- ③その他の物品の購入   ④各市補助金、助成金事務…申請書作成等

#### (4) 常駐相談、特設相談について

- ①常駐当番表の作成…3ヶ月毎   ②特別当番表の作成…1年分   ③委員の希望聴取

#### (5) 会長との連絡調整

- ①日程の確認   ②内容の確認

#### (6) 災害時緊急連絡網の作成、更新

- ①原則として携帯番号の掲載   ②新任委員委嘱時（1月、7月）に更新   ③注意事項の更新

#### (7) 文書整理

- ①各所からの文書の回覧   ②回答処理   ③簿冊綴じ

#### (8) 人権だよりの作成

#### (9) その他・県連関係

- ①フェスティバル関係   ②新任委員一次研修での講義、連絡   ③各地区会関係
- ④ネットワーク協議会関係   ⑤スマホ・ケータイ安全教室関係   ⑥人権サッカー教室関係
- ⑦各市の協議会委員等の推薦事務   ⑧慶弔関係   他

## 『研修委員会』

特別に研修委員会を設置せず、年3回程度の事務局会を以て、研修委員会としている。

- ①年間の方向性 ②アンケートの実施により内容について検討

## 『成果と課題』

○事務局員がそれぞれ担当事務を決め、その事務の中心となり、協力のもとスムーズに進めていった。

○全体研修の場を「映像による形式」や「パワーポイント」等工夫して、三年ぶりに開催することができた。

DVD 研修、活動の紹介ともに好評であった。特にグループ研修は、相談活動における悩み等を話す場になり今後も継続して開催してほしいという声が多く聞かれた。

●新型コロナウイルス感染症の発症者数が少しずつ落ち着いてきている中、今後の活動のあり方をもう一度見直し、活動の充実・拡大をはかっていきたい。

(4) 専門部会  
第一部会  
(ア) 部会

項目	開催年月日	場所	出席委員	内容
第1回	令和4年 5月12日	ソレイユ		部会研修 ○部会役員の決定 ○前期活動計画について ・全国中学生人権作文コンテストについて ・「人権の花」運動指定校 ・人権教室 ・子どもの人権SOSミニレターの取組み ・子どもの人権110番
第2回	令和4年 6月24日	大分地方 法務局	14名	○第41回全国中学生人権作文コンテストの取 り組みについて ・作文審査の日程 ・第1次審査までのスケジュール

※各市ごとに部会を開催。大分市(6/16)、別府市(6/1, 8/29,)、由布市(必要に応じてその都度)

(イ) 「人権の花」運動

場所	項目	開催年月日	出席委員	内容
明野北小 学校	交付式	令和4年 6月28日	2名	「人権の花」運動指定書交付式
	終了式	令和5年 3月23日	4名	「人権の花」運動感謝状贈呈式

(ウ) 人権教室

開催月日	場所	対象・参加数	出席委員	人権教室の内容
R4. 8. 29	三佐小学校	1年 42名	2	人権カルタ
R4. 9. 22	森岡小	1年 48名	3	紙芝居「白い魚とサメの子」
R4. 10. 28	高田幼	年長 36名	3	人権体操
R4. 12. 2	鶴崎小	5年 66名	2	いじめはゼツタイだめ
R4. 12. 9	明野北小	3年 88名	4	いじめはゼツタイだめ
R4. 10. 11	西中	1年 36名	1	「種をまこう」読み聞かせ
R4. 10. 18	大平山小	1年 40名 (2名)	5	人権体操、紙芝居「ぐらぐらもりのおぼけ」
R4. 10. 20	山の手小	6年 37名	1	読み聞かせ「考えよう！インターネットと人権」より
R4. 11. 28	南小	6年 33名 (2名)	2	スマホ・ケータイ安全教室 NTTリモート、子どもに人権110番について
R4. 12. 5	大平山小	全学年 285名 (40名)	4	給食時の人権放送 「ぼくらにできること」(『種をまこう』か ら)の朗読
R4. 12. 19	南小	5年 43名 (2名)	2	スマホ・ケータイ安全教室 NTTリモート、子どもの人権110番について
R5. 1. 17	西中	2年 40名	1	「種をまこう」読み聞かせ
R5. 1. 19	山の手小	4年 40名	1	読み聞かせ「十二支のものがたり」



R4.5.11	由布高	全校生徒・教職員 300名(50名)	2	スマホ・ケータイ安全教室 NTTリモート
R4.7.1	由布院小	6年56名 (2名)	2	スマホ・ケータイ安全教室 NTTリモート
R4.7.27	退職・現職の女性管理職	役員4名	2	人権擁護委員の活動(人権教室、「人権の花」運動、学校とのかかわり、相談活動)
R4.11.25	福良ヶ丘小	2年 17名 (5名)	1	紙芝居「白い魚とサメの子」
R4.12.1	野津小	2年 27名 (8名)	1	紙芝居「白い魚とサメの子」

(エ) 子どもの人権SOSミニレター

取組等	実施期日	担当委員	内容
取組への協力依頼	令和4年 5月～6月	各市の部会委員を中心に	各市教育長及び学校長に依頼
返事書き	6月～	部会委員や常駐当番委員	・部会委員や常駐当番の委員が交代で返事の作成に当たった ・返事は人権擁護委員名で書く
受理件数	令和5年3月31日現在 70通(県内)		

※大分協議会としては、8/8の「人権相談支援」研修に参加

◆大分協議会対応(令和5年3月31日現在)

○小中別

	いじめ	友人関係	自身の悩み	家庭問題	その他	計
小学生	13	11	12	3	3	42
中学生	0	1	2	0	0	3

○市別

大分市	別府市	臼杵市	由布市
37	6	0	2

○月別

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	0	0	38	4	0	2	0	1	0	0	0	0	45

(オ) 第41回全国中学生人権作文コンテスト

①作文提出までの経緯

- 5/12の部会研修の折に、第2部会、第3部会委員にも審査の協力依頼をした。
- 5～6月にかけて各市教育委員会及び各中学校を訪問し、本年度の取り組みについて説明
- 市校長会で説明(由布市、臼杵市)
- 人権教育担当者へ説明(別府市(コロナ感染拡大のため中止)、由布市)

○作文応募期限 9月5日(月)、県大会推薦期限10月6日

②審査の経過

開催月日	場所	担当委員	内容
R4.9.5	大分地方法務局	4名	予備選考のスケジュール検討
R4. 9.6 ～7 14, 15	大分地方法務局	第2、第3部会 委員も含め延 べ24名	午前の部、午後の部に分けて 人権作文予備選考
R4.9.21	大分地方法務局	4名	人権作文一次審査の準備
R4.9.26	大分地方法務局	7名	人権作文第1次審査(1班)
R4:9.27	大分地方法務局	15名	人権作文第1次審査(2.3.4班)
R4.9.29～ 10.5	常務委員宅	12名	人権作文第2次審査

※9/7(午後)以降の予備選考は、事務局及び役員でおこなうことが可能であるため、9/7に「中学生人権作文予備選考の終了について」の文書を発出

(カ) 全国一斉「子どもの人権110番」強化週間

開催期間	会場	担当委員	内容
令和4年 8月26日 ～9月1日 (土日を除く5日間)	大分地方法務局	各協議会 役員を中 心に県連 として対 応 (10名)	その他の内容(いじめ、暴行・虐待、体罰、インターネット以外) (1件)

(キ) 成果と課題

<成果>

○野津中の人権作文コンテストの学校表彰を、校長と今回入賞した生徒が出席して市役所で行った。その後、市長、教育長出席の中、人権教育の大切さについて懇談の機会が持てたのはよかった。

○コロナ禍で、人権教室を実施するにも制約がある中、朝の「読み聞かせ」の時間を使って『種をまこう』の朗読を行うことができた。

○法務局から、教育長、学校長あてに「『人権教室』の実施について」の文書を発出してもらった。そのことにより、数校から人権教室の依頼があった。

○給食時間中の「放送による人権教室」に取り組んだ。学校との協議を重ねたことにより、当初のねらいを達成することができたのではないかと。

<課題>

○IT機器の使用については、学校側と綿密な打ち合わせ、準備が必要。機器操作のトラブルがあった。

○委員それぞれの学校担当を決めたが、効果的な人権教室等の推進の観点からは課題が残った。



## 第二部会

### 企業訪問

企業を訪問して実態を知ること努め、企業啓発活動につなげる。併せて研修に努める。

- 白杵市・・・企業訪問は行政主導で計画したが中止
- 大分市・・・企業部会で周知の依頼をするが実施なし
- 由布市・・・行政・男女共同参画・商工課と連携したが実施なし
- 別府市・・・委員間で協議するが実施なし

### デートDV 予防人権教室

男女平等にかかわる人権意識の啓発と研修に努める。デートDV 予防教室の計画と実践。

- ① 長崎県連のデートDV 人権教室の資料を活用して学校で実践した。
- ② 各市主催の講演会や研修会へ参加した。
- ③ NTT ドコモ「スマホ・ケータイ安全教室」で人権擁護委員の話とデートDV 人権について中学生・高校生へ積極的に周知を行うことができた。
- ④ 白杵市は1月16日 小学校6年生32名対象、1月26日6名対象にデートDV 人権教室を開催した。プリントを用意するなど工夫を凝らし、生徒参加型のスタイルで実践することができた。

### 男女共同参画に関する研修等

#### ① 部会の開催

第1回5月12日木曜日ソレイユ14名参加

年間計画と研修内容について協議

第2回7月7日木曜日法務局 14名参加

九連男女共同委員会の報告をもとに企業訪問・全国一斉「女性の人権ホットライン」の取組についての協議

第3回11月16日法務局12名参加

各協議会からの報告

研修：「人権相談対応指針（総論）講師：人権擁護課長

内容：・対応指針の決定に困ったときは、職員の支持を仰ぐ

- ・特設相談の際、委員から法務局へ連絡を取る姿勢を見せることが相談者の信頼関係へつながる
- ・パワハラ事案は企業側に相談するように対応し、難しい場合は労務局へつなげることを助言する
- ・コロナ感染症に関する事案は、厚生労働省HPに掲載されているので参考にすること。

第4回令和5年2月7日法務局 12名参加

- ・データDV 教室や啓発に努めた
- ・白杵市の小学校6年生対象の授業の記録映像を参加委員と研修した
- ・今後の役員改選についての協議を行った

② 令和4年11月12日から18日 強化週間

③ 福岡法務局ブロック管内男女共同参画問題研修会オンラインで参加

④ 人権街頭キャンペーンに参加

### 《成果》

- ① NTTドコモスマホ・ケータイ安全教室での、デートDV人権教室の紹介はDVの当事者や被害者にならないための切り口として有効であった。
- ② 長崎県連のデートDV予防教室の教材は大変効果的であり、小学校低学年・中学年・高学年と中学生用の4つの教材が揃っており、学校への人権教室開催依頼にも役立っている。

### 《課題》

- ① 男女共同参画については、基本法に基づきシステム化はしているが、まだ十分成果は上がっていない現状である。特に中小企業においては、企業訪問の受け入れの余裕がないところが多い。
- ② 女性の人権に関する相談件数に変化は見られないが、様々な問題が発生している。しかし、『女性の人権ホットライン』の検証活動もコロナ禍のため3年間実施できなかったため、次年度の重点目標に掲げることを提案し、男女共同参画委員の役割の確認を行っていきたい。
- ③ デートDV人権教室は、所管する教育委員会や校長会へ出向いて依頼することで実施に繋ぎたい。



実施日	活動内容												
<p>会議 5/12</p> <p>8/5</p> <p>2/22</p>	<p>○第1回第三部会 (ソレイユ7階) 14:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員選出 部会長 (中山 陽介) 副部会長 (上野 和夫 植木 義章) 書記 (早崎久砂美)</li> <li>・活動計画 研修について (人権擁護課長より案提供実施) あんしん電話の取組について 施設訪問等について</li> </ul> <p>○第2回第三部会 (法務局4階会議室) 10:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修 ・高齢者「あんしん電話相談」の取組分担等検討</li> </ul> <p>○第3回第三部会 (法務局4階会議室) 10:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間活動のまとめ</li> </ul>												
<p>あんしん電話 8/5</p> <p>8/23・25</p> <p>9/13.14.15</p> <p>9/21</p>	<p>○高齢者「あんしん電話相談」の取組検討</p> <p>日程 9月 13日(火) 14日(水) 15日(木)実施 当番 一部2名体制 場所 人権擁護課 相談室 電話番号 みんなの電話 0570-003-110 告知 ・各市報に掲載依頼 (各市に委員で手配) 市役所関係部署、公民館等にパンフレット</p> <p>○・報道関係各社に掲載放送依頼訪問 (計9社 …中山部会長・上野副部会長 事務局対応) 放送局 NHK OBS TOS OAB 新聞社 大分合同 朝日新聞 毎日新聞 西日本新聞 読売新聞</p> <p>○高齢者「あんしん電話相談」実施</p> <table border="1" data-bbox="438 1176 1337 1294"> <tr> <td></td> <td>13日(火)</td> <td>14日(水)</td> <td>15日(木)</td> </tr> <tr> <td>午前 9:00～</td> <td>中山</td> <td>児玉 早崎</td> <td>後藤</td> </tr> <tr> <td>午後 13:00～</td> <td>足利 宮脇</td> <td>上野 和田</td> <td>梅野</td> </tr> </table> <p>○「あんしん電話相談」取組後の結果集約</p> <p>相談6件 (大分市2、別府市1、日田市1、日出町1、不明1) 相談内容 養子縁組について、デイサービス問い合わせ、その他 報道状況 新聞社 (西日本1社) 放送局 (OAB 2日目夕放送)</p>		13日(火)	14日(水)	15日(木)	午前 9:00～	中山	児玉 早崎	後藤	午後 13:00～	足利 宮脇	上野 和田	梅野
	13日(火)	14日(水)	15日(木)										
午前 9:00～	中山	児玉 早崎	後藤										
午後 13:00～	足利 宮脇	上野 和田	梅野										
<p>啓発活動 3/6</p>	<p>○施設訪問 (佐賀関ライフホームおひさま) 人権教室「人権にかかわる講話」 講師：上野和夫委員</p>												
<p>委員研修 8/5</p>	<p>○部会研修 法務局4階会議室 10:30～ 「相談対応困難者への対応について」 講師 ヒューマンフロンティア株式会社 相談支援員</p>												
<p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あんしん電話」の相談件数が6件(昨年31件)と極端に減少。高齢者の悩みが無くなったのではなく、報道状況が大きく影響していると考えられる。新聞社(1社 昨年3社)放送局 (OAB 2日目夕放送：昨年2社 OBS、OAB 初日昼放送)。報道件数を増やすなど、報道を効果的に生かすための対策を練る事が必要。</li> <li>・施設訪問 コロナ禍で高齢者施設など難しい状況が続く。</li> </ul>													



# 令和4年度特設人権相談所開設 (行政相談員と合同含む)

時間 午前10時～午後3時まで

開催年月日	開設場所		出席委員	出席職員	備考	相談件数
5月23日 月	南大分公民館	研修室1・2				1
6月1日 水	ホルトホール	ヒューレ大分				1
6月1日 水	別府市役所	1階 レセプションホール				
6月1日 水	庄内公民館	控室				
7月7日 木	湯布院公民館 (ゆふいんラックホール)	小会議室				
7月12日 火	鶴崎支所	貸会議室2				
7月28日 木	坂ノ市公民館	視聴覚室				1
8月17日 水	別府市役所	1階 レセプションホール				
8月18日 木	ホルトホール	ヒューレ大分				2
8月23日 火	野津原公民館	調理実習室				
9月8日 木	はさま未来館	小研修室				
9月20日 火	穂田支所	貸会議室2				
10月6日 木	明治明野公民館	研修室Ⅱ				
10月25日 火	佐賀関公民館	研修室1				
11月10日 木	穂田支所	貸会議室2				1
11月24日 木	大在公民館	会議室				
12月1日 木	大南公民館	研修室A				
12月21日 水	別府市役所	1階 レセプションホール				1
1月12日 木	鶴崎支所	貸会議室2				
1月24日 火	ホルトホール	ヒューレ大分				1
2月7日 火	明治明野公民館	研修室Ⅱ				
毎月第3木曜日	臼杵市役所					
毎月第3金曜日	野津中央公民館					



「スマホ・ケータイ安全教室」

開催年月日	学校名	講演種類	出席委員	受講人数	
R4.5.11	大分県立 由布高等学校	オンライン	2名	1～3年	300
				教職員	50
				合計	<b>350</b>
R4.6.17	大分県立 海洋科学高等学校	オンライン	1名	1～3年	94
				教職員	10
				合計	<b>104</b>
R4.6.23	臼杵市立 福良ヶ丘小学校	オンライン	1名	5～6年	39
				教職員	2
				合計	<b>41</b>
R4.6.27	大分県立 大分豊府中学校	オンライン	1名	1～3年	360
				教職員	25
				合計	<b>385</b>
R4.7.1	由布市立 由布院小学校	オンライン	2名	6年	56
				教職員	2
				保護者	56
				合計	<b>114</b>
R4.7.7	臼杵市立 野津中学校	オンライン	1名	1～3年	125
				教職員	9
				合計	<b>134</b>
R4.7.12	大分市立 植田東中学校	オンライン	2名	2年	147
				教職員	10
				合計	<b>157</b>
R4.7.13	臼杵市立 南中学校	オンライン	1名	1～2年	20
				教職員	7
				合計	<b>27</b>
R4.7.14	大分市立 大在中学校	オンライン	1名	1～3年	929
				教職員	60
				合計	<b>989</b>
R4.7.15	大分市立 竹中中学校	オンライン	1名	1～3年	47
				教職員	9
				合計	<b>56</b>
R4.7.15	別府市立 北部中学校	オンライン	1名	1年	108
				教職員	7
				合計	<b>115</b>
R4.7.15	大分市立 植田南中学校	オンライン	2名	1～3年	540
				教職員	40
				合計	<b>580</b>
R4.8.26	岩田中学校	オンライン	1名	1～2年	145
				教職員	10
				合計	<b>155</b>
R4.9.6	大分市立 野津原中学校	オンライン	1名	1～3年	61
				教職員	10
				合計	<b>71</b>
R4.9.28	大分市立鴛野小学校	オンライン	1名	教職員	14
				合計	<b>14</b>
R4.10.3	大分市立竹中中学校二 豊学園分校	訪問型	1名	小学校5年	1
				中学校1～3年	8
				教職員	13
				合計	<b>22</b>



開催年月日	学校名	講演種類	出席委員	受講人数	
R4.11.15	大分市立 上戸次小学校	オンライン	1名	4～6年	19
				教職員	3
				合計	22
R4.11.25	大分市立 明治小学校	オンライン	1名	6年	212
				教職員	6
				保護者	212
				合計	430
R4.11.28	別府市立 南小学校	オンライン	2名	6年	47
				教職員	2
				合計	49
R4.11.29	大分市立 森岡小学校	オンライン	1名	5年	30
				教職員	1
				保護者	30
				合計	61
R4.12.5	大分市立 大道小学校	オンライン	1名	6年	82
				教職員	3
				保護者	80
				合計	165
R4.12.13	大分中学校	オンライン	1名	1～3年	66
				教職員	10
				合計	76
R4.12.19	別府市立 南小学校	オンライン	2名	5年	41
				教職員	2
				合計	43
R4.12.20	別府市立 青山中学校	オンライン	1名	2年	153
				教職員	10
				合計	163
R4.12.21	大分市立 佐賀関小学校	オンライン	1名	4～6年	27
				教職員	3
				合計	30
R5.1.13	大分市立 寒田小学校	オンライン	1名	6年	91
				教職員	5
				合計	96
R5.1.25	大分市立 植田小学校	オンライン	1名	5年	106
				教職員	5
				合計	111
R5.1.25	大分市立金池小学校	オンライン	1名	教職員	38
				合計	38
R5.2.1	大分市立 東陽中学校	オンライン	1名	2年	135
				教職員	7
				合計	142
R5.3.3	大分中学校 スポーツクラス	オンライン	2名	3年	32
				教職員	3
				合計	35
<b>総 計</b>				<b>4775人</b>	

○スマホの所持率・使用率は、地域・学校種別・学年によって違いはあるものの8割前後（別府市・小学校6年生の挙手による調べ）になると想像される。また、昨年度比で2倍を超える受講人数になっていることから、今後も学校からの本安全教室の要請は増加が見込まれる。

○今後は、保護者もともに参加して一緒に学ぶ機会を増やすことができるよう、学校に働きかけるとよい。

○NTTドコモ側も、10分程度の時間を残して終了してくれるので、その時間を使って、人権擁護委員の役割や種々の人権啓発をコンパクトに訴えることが重要である。

